

通学区域についての地域・保護者等からの要望等について

1 耳成小学校

- ① 今は子どもの数が多いが、将来的にはマンションやハイツの子どもが減っていくと考えられる。不審者や交通事故の多発地域を通学する子どもの人数が少ないうえ、学校からの道のりも遠いので、心配な面も出てくると考えられる。
- ② 八木駅に近い新賀町在住の一部保護者より、幼稚園入園時に近所同士でも校区が違って戸惑ったことを聞いた。
- ③ 近鉄百貨店の東側が晩成、耳成南、耳成と校区が入り組んでいるので、下校時に交差することがある。
- ④ 新賀町では、秋祭り等耳成小と耳成西小の両小学校の行事を考えて計画してくださっているらしい。

2 真菅小学校

- ① すべての保護者ではないが、一部の保護者（特に慈明寺、寺田、大谷）には、通学区域が南北に広く、通学に1時間近くかかっている児童もいたり、途中には幹線道路も渡って登下校する児童もいたりするため、考え直してほしいという考えがある。
特に若い保護者の中には、今井小学校や金橋小学校の方が近いので、替えて欲しいと思っている人がいる。但し、年配の方は、昔からの村同士のつながり等で、それには批判的である。

3 香久山小学校

- ① 南部地域（南山、戒外）の児童が少なく集団登下校ができず、安全面から保護者が送り迎えをしている。スクールバス等考えてもらえないだろうか。